

知識科学系セミナー

テーマ

「自然知覚に関わる脳情報の定量化とAIへの応用」

講演者： 国立研究開発法人情報通信研究機構
未来 ICT 研究所脳情報通信融合研究センター
主任研究員 西田 知史 氏

日時： 令和3年12月3日(金)
15:30～17:30

場所： 知識科学系講義棟2階中講義室及びオンライン
参加希望者は、下記問合せ先までお申込みください。
また、本セミナーにオンラインで参加を希望の方は、こちらのQRコードから事前に登録願います。登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。
(申込締切：11/29(月))



講演要旨：

日常環境での自然な知覚（自然知覚）を支える脳内基盤を解明することは、人間の適応的知性を理解するうえで重要であると同時に、神経科学の社会応用を実現するためにも意義のある課題である。私はこれまで、機能的磁気共鳴画像法（fMRI）を用いて自然知覚に近い状況下で脳計測を実施し、数理モデリング手法によるデータ分析を適用して、自然知覚に関わる脳情報の定量化に取り組んできた。本講演では、それら一連の研究成果のうち、特に自然な意味知覚と個性に関わる脳情報の定量化についての成果を紹介する。また、その応用として、定量化した個人の脳情報をAIへ融合し、人間らしく振る舞うAIの実現を目的とした技術の開発についても紹介する。

講演者略歴：

2008年4月～2010年3月 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 博士前期課程
2010年4月～2014年3月 京都大学大学院医学研究科 博士課程
2014年4月～2014年10月 京都大学こころの未来研究センター 研究員
2014年11月～現在 情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター 研究員
(現・主任研究員)
2020年4月～現在 大阪大学大学院生命機能研究科 招へい准教授
2020年12月～現在 科学技術振興機構 さきがけ兼任研究者